

- ・登壇される方々
- ・参加される皆さんすべてに対して

とカテゴリを分けて、グーグルフォームには入力欄ありましたが。私個人的には「登壇される方々」と「その他の参加者」に垣根はないと思うので、共通の質問事項とさせて頂きました。

1. 震災30年目として、何かこれまでの29年と異なる対応（取り組み）をされたか？
2. 阪神淡路での「経験」「対応」が、他の大規模災害に教訓として反映できている（あるいはできていない）点は何か？ またその理由として感じていることは？
3. 私は震災経験者（36歳のとき）だが、阪神淡路の経験はないが語り部的に対応されている若い方々は、活動の中で相手のどんなリアクションがあった際に、状況や課題が伝わったと実感されているか？
4. 来年、次の10年さらにその先へ向けて、今正確に課題と対応を伝えてゆくには、どんなアプローチや行動が、ポイントとなると思うか。
 - ・コスト（お金） 人的パワーなど、数値で計測できるもの
 - ・定数的に計測や判は断難しいが、考慮はすべきものの2点に分類して